

祝 第76回 入学式 24名が入学

令和6年4月8日(月)令和6年度山形県立荒砥高校第76回入学式が行われました。

12名の来賓の方々のご臨席のもと、保護者の皆様、先輩たち、教職員に見守られる中、厳かかつ温かい雰囲気の中で入学式は行われました。来賓を代表して、白鷹町副町長田宮修様より町長佐藤誠七様のお祝いとともにチャレンジし続けてほしいとのメッセージが伝えられました。また、PTA会長の佐藤一彦様より、「富士山に登った人は富士山を目指した人。一人一人の富士山を作ってほしい。」と激励のお話しをいただきました。荒高では様々な場面で自然に拍手がおきます。この拍手が新入生を優しく包み込んでくれました。



校長式辞



新入生誓いの言葉



緊張気味の新入生



入学式が終わり教室へ

石田充校長の式辞より(抜粋)

この荒砥高校で「新しい自分を造ってほしい」ということです。

人間は、誰しも、日々変化しています。特に皆さんのような成長著しい時期には、乾いた大地に、水がぐんぐんと浸透するように、心や体にたくさんの栄養を吸収して、大きく成長する可能性を無限に秘めています。

しかし、その可能性とはどのようなものなのか、どのように芽吹き、花開き、実を結んでいくのか、今はまだ、未知の段階です。その未知の可能性を引き出したいと、荒砥高校では、様々な支援を準備しています。

歓迎の言葉として、生徒会長の斎藤あみさんから、「学校生活を充実したものにするための秘訣は失敗を恐れずに挑戦してみることにあります。わからないことがあれば、遠慮なくドンドン聞いて。」と頼もしい言葉もありました。

新入生代表の村上愛海さんからは、「荒砥高校は自分の将来の夢を実現するための学習ができます。一人一人が自分の目標に向けて努力することをお約束します。」ととても力強い誓いの言葉がありました。